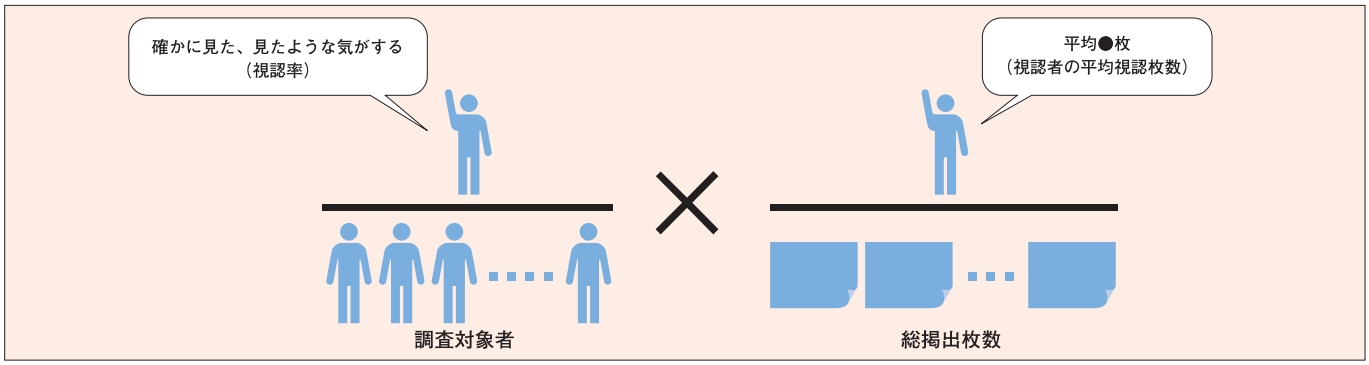
1枚当たり視認率と視認枚数について（車内ユニット）

測定意図：ユニット視認率は、中づりユニットの場合、「車内のいずれかの中づりを見た人の割合」を示している。
実際には、各ユニットとも1枚から数枚の出稿が一般的であり、そうした実情に即した効果指標とするため、ユニット視認率をベースに「1回の乗車でのユニット1枚当たりの視認率」を算出した。

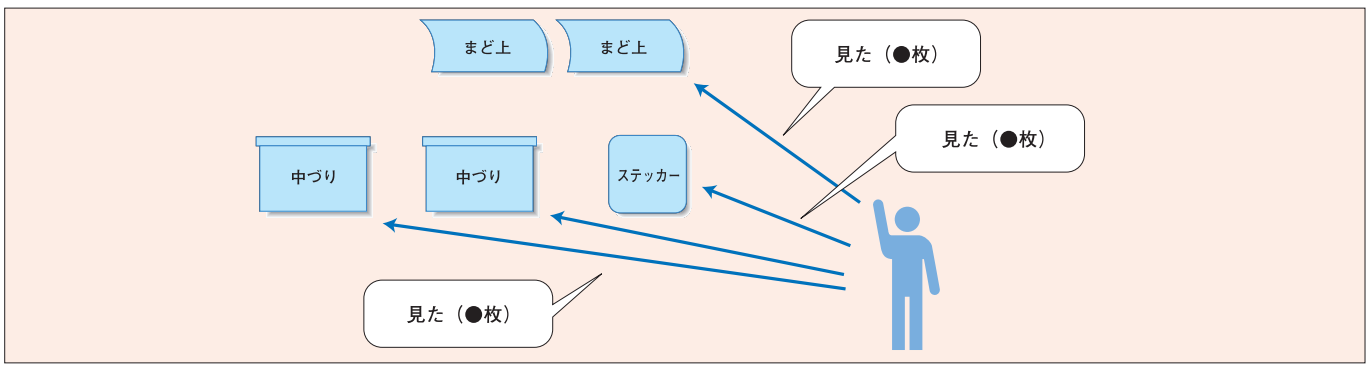
＜1枚当たり視認率とは＞

対象ユニット1枚につき、どれだけの人が視認したかの割合。
算出方法は以下の通り。



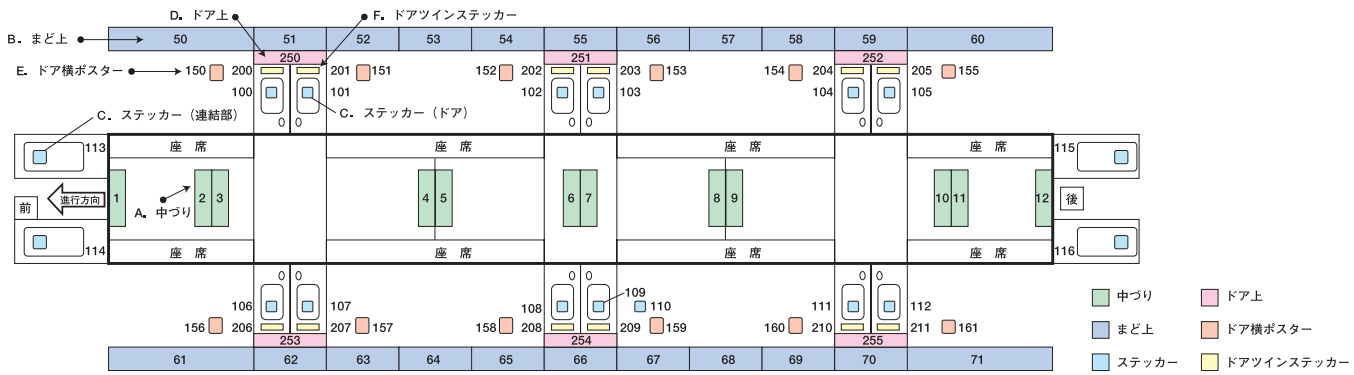
＜視認枚数とは＞

対象ユニットを見た人が、1回の乗車で見た対象ユニットの平均枚数（シングルスペース換算）。



＜測定方法一覧＞

■車両展開図（イメージ）　※各鉄道会社・電車によってドアの枚数や広告の種類・枚数は異なります。



●質問文

【上記車両展開図のイラストを提示】

Q. 先ほど、各広告の場所をご覧になったかどうかをうかがいましたが、今度は具体的な各広告の場所が目に入ったかどうかをうかがいます。今ご利用になった電車で、乗ってから降りるまでの間に、「見えた」あるいは「見えたような気がする」広告が含まれている場所はどこでしょうか。

A)『中づり』についてはいかがでしょうか？番号でお答え下さい。
B)『まど上』についてはいかがでしょうか？番号でお答え下さい。
C)『ステッカー』についてはいかがでしょうか？番号でお答え下さい。
D)『ドア上』についてはいかがでしょうか？番号でお答え下さい。
E)『ドア横ポスター』についてはいかがでしょうか？番号でお答え下さい。
F)『ドアツインステッカー』についてはいかがでしょうか？番号でお答え下さい。